

J E N E S Y S 2 . 0**日韓文化交流基金主催 創立 30 周年作文コンテスト訪日研修団****訪問日程 平成 26 年 2 月 20 日 (木) ~2 月 23 日 (日)****1. プログラム概要**

「JENESYS2.0」の一環として、当基金主催の創立 30 周年記念作文コンテストで最優秀賞を受賞した韓国の中高生 14 名が、去る 2 月 20 日から 2 月 23 日までの 3 泊 4 日の日程で研修を行いました(団長: 田泰重(チョン・テジュン) 江西高等学校日本語教諭)。一行は、都内での学校訪問や、日本側最優秀賞受賞者との交流を通して、日本の文化や社会などについて理解を深めました。

2. 日程**2/20 (木)**

入国(羽田国際空港)、歓迎昼食会、作文コンテスト授賞式、東京みなと館見学

2/21 (金)

外務省訪問、都内学校訪問(神田女学園中学校・高等学校)、栃木県日光市へ移動

2/22 (土)

日光東照宮見学、東京へ移動、日本側最優秀賞受賞者との交流会(藍染体験、スカイツリー見学)、感想報告会

2/23 (日)

帰国(羽田国際空港)

3. 写真

	
<p>(日本語) 2月20日 作文コンテスト授賞式 (基金役員と授賞者) (都内)</p>	<p>(日本語) 2月20日 作文コンテスト授賞式懇談会 (基金役員と授賞者) (都内)</p>
<p>(母国語) 2월 20일 작문 콘테스트 시상식 (기금임원과 수상자) (도내)</p>	<p>(母国語) 2월 20일 작문 콘테스트 시상식 (기금임원과 수상자) (도내)</p>
	
<p>(日本語) 2月20日 施設見学 (東京みなと館) (都内)</p>	<p>(日本語) 2月20日 施設見学 (東京みなと館) (都内)</p>
<p>(母国語) 2월 20일 시설 견학 (도쿄 미나토관) (도내)</p>	<p>母国語) 2월 20일 시설 견학 (도쿄 미나토관) (도내)</p>
	

<p>(日本語) 2月21日 外務省訪問 (都内)</p>	<p>(日本語) 2月21日 外務省訪問 (都内)</p>
<p>(母国語) 2월 21일 외무성 방문 (도내)</p>	<p>(母国語) 2월 21일 외무성 방문 (도내)</p>
	
<p>(日本語) 2月21日 学校訪問 (神田女学園中学校・高等学校) (都内)</p>	<p>(日本語) 2月21日 学校訪問 (神田女学園中学校・高等学校) (都内)</p>
<p>(母国語) 2월 21일 학교방문 (간다 여학원 중학교・고등학교) (도내)</p>	<p>(母国語) 2월 21일 학교방문 (간다 여학원 중학교・고등학교) (도내)</p>
	
<p>(日本語) 2月21日 学校訪問 (神田女学園中学校・高等学校) (都内)</p>	<p>(日本語) 2月21日 学校訪問 (神田女学園中学校・高等学校) (都内)</p>
<p>(母国語) 2월 21일 학교방문 (간다 여학원 중학교・고등학교) (도내)</p>	<p>(母国語) 2월 21일 학교방문 (간다 여학원 중학교・고등학교) (도내)</p>
	
<p>(日本語) 2月21日 学校訪問 (神田女学園中学校・高等学校) (都内)</p>	<p>(日本語) 2月22日 施設見学 (日光東照宮) (栃木県日光市)</p>

<p>(母国語) 2월 21일 학교방문 (간다 여학원 중학교·고등학교) (도내)</p>	<p>(母国語) 2월 22일 시설 견학 (넛코 토쇼궁) (도치기현 넛코시)</p>
	
<p>(日本語) 2月22日 施設見学 (日光東照宮) (栃木県日光市)</p>	<p>(日本語) 2月22日 日本側最優秀賞受賞者との交流会 (都内)</p>
<p>(母国語) 2월 22일 시설 견학 (넛코 토쇼궁) (도치기현 넛코시)</p>	<p>(母国語) 2월 22일 일본측 최우수상 수상자와 교류회 (도내)</p>
	
<p>(日本語) 2月22日 日本側最優秀賞受賞者との交流会 (藍染体験) (都内)</p>	<p>(日本語) 2月22日 日本側最優秀賞受賞者との交流会 (藍染体験) (都内)</p>
<p>(母国語) 2월 22일 일본측 최우수상 수상자와 교류회 (남염 체험) (도내)</p>	<p>(母国語) 2월 22일 일본측 최우수상 수상자와 교류회 (남염 체험) (도내)</p>

4. 参加者の感想

◆印象的だったこと

○日本人との交流に関して

- ・日本の同世代との交流を通して日本の学生の様子や、韓国との違いを知ることができた。一緒にスカイツリーに行き、夕食、宿泊を共にしたこと全てが印象深い。

○文化に関して

- ・日光東照宮の見学を通して、日本の伝統的な建築様式を学べた。繊細さと彫刻一つ一つに込めた意味に、日本も日本なりに独特で美しい建築様式を発展させて来たのだとはっきりと感じた。

○人間性について

- ・日本の女子学生は女性らしく、控えめなイメージだったが、交流をした同世代の学生はとても活発で驚いた。

○その他

- ・外務省訪問の際、何名かの団員は簡単な質問だけでなく、大変敏感な問題についても質問をしていた。返答を避けるかと思われたが、大変誠実に、そして具体的に返答を下さり感動した。研修期間は短かったかも知れないが、色々な場所を訪問し、様々な人とお会いしたからか、外国人として日本に来たというよりは、一人の人間として日本を訪問し、偏見なく多くのことを学べたと思う。
- ・自分にとって日本は本の中にある国だった。しかし、今回の研修を通して生きている日本に会い、とても嬉しかった。今はニュースや本で触れる想像の中の日本ではなく、もう一度来たい国であり、機会があればワーキングホリデーや留学で来てみたい。
- ・以前友人と5泊6日で日本に旅行をしたことがあったが、3泊4日の今回の研修ほど意義深い旅行ではなかった。全国から集まった団員とはもちろん、日本にいる学生とも色々な意見を交わすことができ、本当に二度とない機会となった。

◆自国の人に伝えたいこと

- ・日本各所での韓国に対する友好的な視線、日本人学生が持続的に韓国に関心を持っているという事実とともに日本の強い経済力と高い生活水準を知らせたい。何よりも美しい国土と自然、現在と共存している伝統文化、その伝統文化に外国の文化を受け入れた現在の日本の文化、そして誠実で親切な日本国民が住んでいる「日本」を伝えたい。
- ・研修での経験や、日本の学生との交流を通して知ったこと、日本人についてのことや日本の文化と芸術に関して、外務省訪問を通して日韓関係についてより詳しく知れたこと、日本と韓国の違いについても伝えたい。

- ・来日前、周囲の人の日本に対する考えがそれほど良いものではなく、自分も「日本はそうなんだ」と考えていた。しかし日本に来てみると、自分の考えていた以上に良い国だと考えるようになった。自分が直接見た日本は聞いていたこととは異なり礼儀を重要視し、韓国に比べてとても整えられているのに、自分がそのような考えを持っていたことが恥ずかしい。一つの物事を解決する時に一人の意見だけを聞いてはいけないにも関わらず。帰国後、韓国人の日本に対する印象を良いものにしたい。自分が犯した間違いが再び起こることのないように正し、自分より年下の後輩や親戚に日本に対しての良い印象を残し、日韓関係の発展に貢献したい。